

人件費の概要

○一般会計における人件費の状況（平成 20 年度）

人件費には、職員の他に町議会議員、非常勤特別職などにかかる報酬、給料、手当、共済費、負担金などが含まれます。

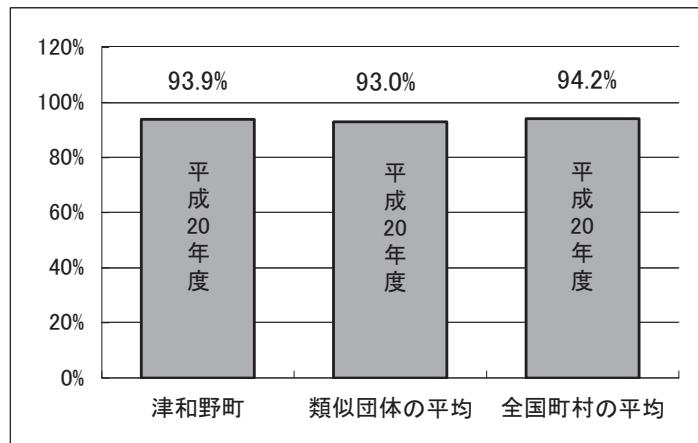
一般会計歳出額	実質収支	人件費	歳出額に占める 人件費の率	(参考) 平成 19 年度の人件費率
77 億 6,012 万円	6,672 万円	11 億 1,169 万円	14.3%	14.4%

・ ラスパイレス指数

ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を 100 としたときの自治体職員の給与水準を示すものです。津和野町の場合、平成 20 年度は 93.9% ですので、国家公務員より 6.1% 水準が低いことになります。

※類似団体の平均

類似団体とは、人口規模や産業構造が類似している団体（市町村）のことです。類似団体の平均とは、類似団体のラスパイレス指数を単純に平均したものです



○人件費削減の取り組み

町では、次のような人件費の削減を行っています。

区分	項目	削減内容	削減措置の実施期間
一般職	給料	給料月額を一律 3% 削減	平成 18 年度～平成 22 年度
	管理職手当	手当額を一律 25% 削減	平成 18 年度～平成 22 年度
特別職	給料	給料月額を 15% 削減 ・町長 730,000 円 → 620,500 円 ・副町長 615,000 円 → 522,750 円 ・教育長 560,000 円 → 476,000 円	平成 18 年度～平成 22 年度
	期末手当	削減後の給料月額で計算	平成 18 年度～平成 22 年度

○特別職の報酬

町長や議会議員などの報酬は、町民のみなさんで構成する「報酬審議会」で検討します。審議会では、町長からの依頼を受けて具体的に報酬額や改正の期日を検討し、委員会での決定事項を町長に伝えます。町長は委員会の決定事項を尊重して改正条例を町議会に提出し、議決を受けます。

区分	津和野町	津和野町	類似団体における最高額	類似団体における最低額
町 長	620,500 円	620,500 円	850,000 円	306,400 円
副町長	522,750 円	522,750 円	680,000 円	304,500 円
教育長	476,000 円	476,000 円		
議 長	280,000 円	266,000 円	370,000 円	205,000 円
副議長	236,000 円	224,200 円	320,000 円	164,900 円
委員長	207,000 円	196,650 円		
議 員	197,000 円	187,150 円	300,000 円	145,500 円
	平成 22 年 4 月 1 日現在		平成 21 年 4 月 1 日現在	

○一般職の給与

一般職の職員給与は、人事院の勧告に基づいて行われています。

区 分	津和野町	島根県	国
平 均 年 齢	41.3 歳	44.3 歳	41.5 歳
平均給料月額	317,000 円	329,972 円	325,521 円
平均給与月額	371,056 円	395,550 円	—
平均給与月額 (国ベース)	337,024 円	357,212 円	391,770 円
	平成 21 年 4 月 1 日現在		

(注) 1 「平均給料月額とは、平成 21 年 4 月 1 日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。
2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

また、「平均給与月額(国ベース)」は、国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものである。

○職員の数

- ・平成 22 年 4 月 1 日現在の職員数 138 人（特別職を除く）
(平成 23 年 4 月 1 日における目標職員数 139 人)